

セーフティ946

令和元年11月20日
釧路方面本部
交通課



雪の降り始めは スリップ事故に注意!

11月に入り、初雪の便りが届いている地域も多くなってきました。まだこの辺りは雪が降らないだろう、このぐらいの雪なら大丈夫、などという油断は大敵です。冬用タイヤへの交換は終わりましたか。また、タイヤ交換をしたから、と安心してはいけません。雪の降り始めの11月は、特にスリップ事故発生の危険が高いのです。



スリップ事故の特徴

[平成30年度から過去5年(11月～3月) 死亡事故62件67人から]

- 11～12月は降雪(降雨)後の数日間にわたり、**湿潤と凍結を繰り返したり、乾燥路面の中に部分凍結が発生するため、運転手は急な路面変化に対応できず、スリップ事故を発生させます。**
- 発生場所はカーブより、**平坦な直線道路が多く、正面衝突が約6割を占めています。**
- 正面衝突は、**普通車が第1当事者となる事故が多く、普通車が大型車や中型車と衝突する事故が約7割を占めています。**
- 事故直前の速度が速い場合は死亡事故になるケースが多く、**事故直前の速度が40km/hを超えると死亡事故の割合が高くなります。**

こんなところに注意!

恐怖心、驚愕による

スリップ事故のメカニズム
大型車とすれ違う際に、普通車の運転手は「**恐怖心(心理的な圧迫感)**」から、**不用意なハンドル・ブレーキ操作によりスリップを発生させる**等、車両の制御ができなくなり、対向車にはみ出した結果、正面衝突となっていると思われています。

平坦な直線

直線では、カーブのように速度を抑えていない場合が多いことから、事故直前の速度が速いため、衝突時に体にも与える影響が大きい。

トンネル内の一部凍結

トンネルの手前は乾燥しているが、**トンネル内の出入口付近が凍結している。**

平坦なカーブ

樹林による日陰のため、一部凍結路面が発生している。
山間部のカーブでの全面凍結。